

製品名: GIT2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11450**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:500,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	84kDa

抗原情報

遺伝子名	GIT2
別名	GIT2; KIAA0148; ARF GTPase-activating protein GIT2; ARF GAP GIT2; Cool-interacting tyrosine-phosphorylated protein 2; CAT-2; CAT2; G protein-coupled receptor kinase-interactor 2; GRK-interacting protein 2
遺伝子 ID	9815.0
SwissProt ID	Q14161
免疫原	抗血清はヒト GIT2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 361-410

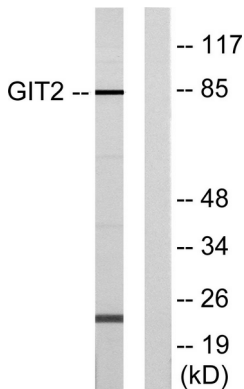
背景

この遺伝子は、G タンパク質共役受容体キナーゼと相互作用し、ADP リボシル化因子 (ARF) GTPase 活性化タンパク質 (GAP) 活性を有する GIT タンパク質ファミリーのメンバーをコードしています。GIT タンパク質は、細胞質複合体、接着斑、細胞周縁部の間を移動し、Pak 相互作用交換因子ベータ (PIX) と相互作用して、他のタンパク質を一時的にリクルートする大きなオリゴマー複合体を形成します。GIT タンパク質は、細胞骨格の動態を制御し、受容体の内在化と膜輸送に関与しています。この遺伝子は、ラメリポディア伸長と接着斑ターンオーバーを抑制することが示されており、細胞運動を制御していると考えられています。この遺伝子は広範な選択的スプライシングを受けて複数のアイソフォームを生成しますが、これらのバリエーションの一部の全長の性質は決定されていません。様々なアイソフォームは、ARF GAP 活性および G に関して機能的に異なる。代替産物: 追加のアイソフォームが存在すると思われる。機能: ADP リボシル化因子ファミリーの GTPase 活性化タンパク質。類似性: 1 つの Arf-GAP ドメインを含む。類似性: 3 つの ANK リピートを含む。サブユニット: TGFβ111 と相互作用する (類似性による)。G タンパク質共役受容体キナーゼと相互作用する。パキシリンと会合する。PIX 交換因子とも相互作用する。

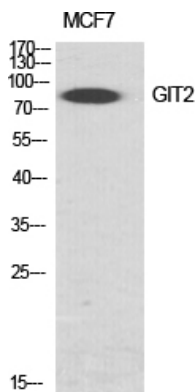
研究分野

エンドサイトーシス;

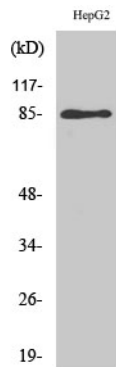
画像データ



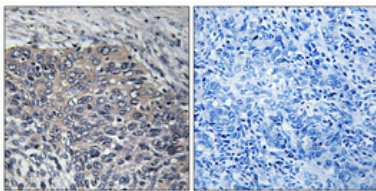
GIT2 抗体を用いた HepG2 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



1: 1000 に希釈した GIT2 ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウェスタンブロット分析。



1: 1000 に希釈した GIT2 ポリクローナル抗体を使用した HepG2 細胞のウエスタンブロット解析。



パラフィン包埋ヒト子宮頸癌の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晚) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。